「受け取ったおつり」

―初稿―

2026/10/19

雨森　れに

〈人物表〉

猿谷（さるや）　泰斗（たいと）　（２２）建設業で働いている。金欠

長里（ながさと）　京（きょう）　（３８）誘拐犯の一人

高城　心菜　（１０）誘拐された少女

長瀬　夏彦　（４０）捕まった誘拐犯

店主

老婆

1.

中華屋・店内（夜）

昔ながらの町中華。テレビでニュースが流れている。
作業着姿の猿谷泰斗（２２）が入ってくる。
カウンター席に座り、財布を取り出す。
ボロい折りたたみ財布に千円札が2枚。
壁のメニューを見る。
「ラーメン７００円」に大盛無料の文字。

泰斗　「ラーメン。大盛りで」

店主　「はいよ！」

泰斗、スマホを取り出す。
画面は真っ暗。
ポケットを探り、モバイルバッテリーを出す。
接続するも、こちらも電池切れ。

店主　「ラーメンおまち」

と、どんぶりが置かれる。
泰斗、スマホをしまい、食べ始める。

キャスターの声「続いては西東京市少女誘拐事件についての続報です。誘拐された高城心菜ちゃん１０歳は……」

泰斗、テレビをちらり。
高城心菜（１０）の写真が公開されている。
ポニーテールで活発そうな雰囲気。

キャスター「身代金は三百万円請求され――」

店主　「生きてればいいけどなぁ」

泰斗、気にせず麺をすする。

2.

中華屋・前（夜）

泰斗、店から出てくる。口にはつまようじ。
地面に黒革の長財布。使い込んであるが、分厚い。
泰斗、拾う。
中身を見て、つまようじを落とす。
帯つきの一万円札の束が3つ。
周囲を確認。誰もいない。
財布を尻ポケットに突っ込む。
逃げるように歩き出す。

3.

路地裏（夜）

急ぎ足の泰斗。
民家の隙間に入り込む。
泰斗、拾った財布を広げる。
震える手で札束を取り出す。
一緒に入っていた小さなポロライド写真が落ちる。
少女の写真。乱れたポニーテールで悲しそうな表情。
札入れに戻そうとし、硬直。
札束には乾いた血がついている。

4.

中華屋・店内（夜）

翌日。泰斗、カウンター席に座るなり、
泰斗　「チャーシュー麺。ミニチャーハンセット」
店主　「はいよ！」
キャスターの声「西東京市少女誘拐殺人事件に続報です」
泰斗、テレビを見て驚く。
写真と同じ少女・心菜が映っている。
別卓にいる長里京（３８）、泰斗の様子を見ている。
細身の黒スーツに眼鏡。頬に殴られた痣。

5.

中華屋・前（夜）

泰斗、店から出てくる。おつりの紙幣を自分の財布にしまいながら。
長里の声「少しよろしいですか」
振り返ると、長里が立っている。
長里　「昨日、ここで財布を拾いませんでしたか。黒い長財布なんですが」
長里、にやり。
泰斗、尻ポケットを触る。
長里　「あんな風に汚れた金でも、使えますか」
泰斗、走り出す。

6.

路地裏（夜）

泰斗、走っている。
何度も後ろを振り向く。
長里はついてこない。
月極駐車場の前を過ぎる。
が、戻って中へ。

7.

駐車場（夜）

砂利敷きで、ほとんど満車状態。
泰斗、ベンツとバンの隙間に入る。
荒い息。
顔をあげ、長里が来ないか確認する。
路地には誰もいない。
崩れるようにしゃがみ込む。
長財布を取り出す。
大金と少女の写真。
×　×　×
ニュース画面。
心菜の写真。
キャスターの声「身代金は三百万請求され……」
店主の声「生きていればいいけどなぁ」
血の付いた札束。
×　×　×
泰斗、顔をゆがめる。
砂利を踏む音。
長財布を抱え、息を止める。
足音が近づく。
ぎゅっと目を閉じる。
車の開錠音。
大きく息を吐き出す。
空を見上げる。三日月が浮かんでいる。
長里　「あぁ。ここにいたんですね」
ベンツの窓から長里が見下ろす。
泰斗　「うわぁぁぁぁ」

長里　「落ち着いて。ちゃんと話を聞いてくださいよ。ね？」
泰斗　「俺じゃない！」
　泰斗、逃げる。
　長里、やれやれという顔。
　運転席に戻り、エンジンをかける。

8.　**路地裏（夜）**

　泰斗、狭路を転がるように走る。
　体をぶつけながら、後方を気にしながら。
　手には長財布を持ったままである。

9.　**道（夜）**

　泰斗、裏路地から明るい表通りに出る。
　人通り、車の交通量、ともに多い。
　ようやく立ち止まる。
　通行人、息を切らす泰斗を怪訝そうに見る。
　泰斗、長財布に気づき、尻ポケットへ。
　キョロキョロとしながら歩き出す。
　次第に落ち着きを取り戻す。
　酒屋を見つけ、中に入る。

10.　**酒屋（夜）**

　昔ながらの雰囲気。
　レジ台に古い小型テレビ。砂嵐状態。
　レジにいる老婆、乱暴にリモコンを触っている。
　老婆、入店した泰斗に気づく。
　作業着姿の泰斗をしげしげとみて、
老婆　「アンタ、これ直せる？」
　と、リモコンを差し出す。
泰斗　「えぇ……どうしたんすか」
老婆　「急にこうなっちゃってさぁ」
　泰斗、リモコンを操作する。
泰斗　「こういうのって、配線とかじゃないの」
老婆　「じいさんがつけたからわからんのよぉ」

泰斗　「俺だって線差し直すぐらいしかできんよ」
と、テレビ裏の配線を抜き差し。
砂嵐ごしにニュースキャスターの顔がちらつく。
音声も途切れ途切れ。
キャスター「西東京市……」
泰斗の手が止まる。
画面が未だちらつく中、心菜の写真がアップになる。
老婆　「この犯人、捕まったんだってよ」
泰斗　「いつ？」
老婆　「速報だったからさっきだろ」
泰斗　「そっか」
と、乾いた笑いを漏らす。
泰斗、コンセントを抜き差し。
テレビが正常に映る。
すでに誘拐についてのニュースは終わっている。
老婆　「おぉ。ありがとねぇ」
泰斗　「なんもしてないよ」
泰斗、冷蔵庫棚からハイボールのロング缶を取る。
レジに置き、財布を探る。
ポケットの中で長財布が手に触れる。
表情を硬くする。
老婆　「いいよ。お礼に持ってって」
泰斗　「っざす」
泰斗、缶片手に出ていく。

11. 酒屋・前（夜）

泰斗、缶を開ける。
三日月に乾杯。
一気飲み。

12. 道路（夜）

先ほどの通りから離れ、寂しい雰囲気。
ほろ酔いの泰斗。
電信柱に体を預ける。

歩き出そうとして、男にぶつかる。
長里である。
泰斗、逃げようとする。
が、壁に押し付けられる。
長里「財布、返してもらえますか？」
泰斗「盗ってない！　これから交番に持ってくつもりでっ」
長里「それはちょうどいい」
長里、警察手帳を見せる。
長里「いわゆる私服刑事です」
泰斗「本当に……？」
と、手帳を触ろうとする。
しかし、長里は手帳をしまう。
長里「犯人が反社側だったもので、このような出で立ちに」
泰斗「本物みたいですけど……」
長里「ええ。本当に間違われて喧嘩沙汰になりました」

13.

（回想）中華屋・前（夜）

絡まれ喧嘩をする長里。
ポケットから長財布を落とす。
気付かず、揉みあいながら裏路地へ
× × ×
泰斗、中華屋から出てくる。
長財布を拾い、あたりをキョロキョロ。
長里、戻ってくる。焦った表情。
泰斗の後姿を見て、眼鏡を押し上げる。

14.

道路（夜）

泰斗「落とすとか、どうなってんすか」
長里「返す言葉もありませんね。ですが、返していただかないと。公務執行妨害……って知ってますか？」
と、内ポケットから手錠をちらつかせる。
泰斗、途端に焦り出す。
泰斗「で、でも。あの。すみません。中身が」
長里「ですよね。私の権限で……そうですね。拾得物扱いで、

一割お渡ししましょう。使った分はそこからで」

泰斗、安堵の表情。

長財布を差し出す。

が、長里が受け取る瞬間に引っ込める。

長里、笑顔で手を差し出す。

泰斗、迷いつつも渡す。

長里、中身を確認する。

長里　「あなたは真面目な人ですね。じゃあこれ」

と、三十万ほど渡す。

泰斗、ぎこちなく受け取る。

長里　「証拠品の保管、ありがとうございました」

長里、近くに停めてあったベンツで去っていく。

15.　泰斗の家（夜）

小さなボロアパートの一室。

湯上りの泰斗、テレビをつける。

ニュースが流れる。

キャスター「西東京市誘拐殺人事件の続報です。犯人は二人組だと明らかになりました。本日午後九時頃に逮捕された長瀬容疑者とは別にもうひとりが逃走中です」

長瀬夏彦（４０）が映し出される。

泰斗、ちゃぶ台上を見る。

膨らんだ折り畳み財布。

おわり